

今年度のテーマを踏まえてお話ししたいと思います。今日はRACから3名の方がお見えになって、RCCも認証状が届いたということで、黒岩創立会長が今までやって来られた事に対し、この良き日にそういう報告が入りました。

私の今年度スローガンは「歴史を学び進化させよう」ですが、これは国際ロータリーや日本のロータリーの歩みを考えて、今までの御苑RCの歩みを振り返って、このテーマに決めました。偶然ですがPETSへ行った時に上山ガバナーのテーマが「親睦と研修」。御苑RCも親睦を大事にしてきたクラブです。私もロータリーライフを楽しむ為にはロータリーの歴史とか色々な決まりごとを理解することによって、楽しくロータリアンとしてやっていけるのではないかと思います。そういう意味で今年度のガバナーと御苑RCの方向性が共通していると感じたのがPETSの印象でございます。ロータリーライフを楽しむ為・楽しい例会にする為にその歴史を学ぶことが大切である。ただこのところ規約の改正などを考えますと、ロータリーも大きな変革の時がきているという事も感じます。

ロータリーでは皆様も個人個人でいろいろな奉仕をおやりになっています。それが1本よりも2本、2本よりも3本と矢が太くなれば、なかなか折れないし、一人でやることより組織でやればもっと力強くできると思います。私もロータリーに入ったのですが、逆に組織が世界的に大きくなると、そこに運用コストがかかる。運用がうまくいくかいかないか、時代に合せて会員を増やしてロータリーの力を維持し続けていかなければならない。そういうことから、いろいろな規約の変革が起こってきていると思います。この時代でそれを踏まえて、今まではこうだったから、いや世界的にこうだから受け入れられない、変われないというのではなくて、良いところはどんどん取り入れる。日本のロータリーの良さ、今までの2580地区がやってきた大変良い歴史もあります。踏襲しなければならないものもあります。それも踏まえて御苑RCは進んでいかなければならないと思っております。

今の時代はeクラブというのがありますが、メールでという時代ではないなど。これからは「ビデオ例会」を出来るだけ速やかに行ないたい。そのための人材が多々おられますし、入会希望者も何人か私の手元に届いております。そういうことに詳しい方・経験のある方、奉仕の中で医療のことや学会運営に携わってきた方がメンバーで入られます。その方々と一緒に、分かりやすく言えば「テレビ会議」のような感じでやりとりできるものをと。

何故なら今年も黒岩創立会長には増強に頑張ってくださいなのですが、いろいろな地域の会員がいらっしゃいます。今日は、福島からもおいでになっています。福島から例会に参加できるというのは素晴らしいですね。そういうクラブにしていきたい。それを出来るだけ早く構築していきたいと考えています。

また劉さんのご尽力で、台湾に友好クラブが2クラブできました。友好クラブに年1回、ただ顔を見せに行くだけでは少ない気がします。また今回のようにいろいろな都合で来れなかったり、行けなかったりすることもあるかもしれません。そういう時にビデオやテレビで共同例会を開くとか、そういう新しいかたちで進めていくことがとても大事だと思います。

そういう意味ではRIのルールの変更を前向きに捕らえて、2580地区の歴史も大事にしながら一歩先に進む。今までのものを大事にしながら、我々が新しいロータリーのかたちを示していくことができなかなと。そこは会員の皆様の努力が必要だと思います。なんで努力するのか？楽しむためですから。そこが一番大事だと考えております。

創立2年目の課題は各委員会の活動を更に活発にしていきたい。今までも表にはあまり知られてはいませんが、毎週と言っていいくらい御苑RCはいろいろと活動しています。このパワーは多分他のクラブでは見たことも聞いたこともありません。それを更に活発化させ、各委員会を自立化させ、論じ合って今後の運営に活かしていきたいと思ひます。

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、こういう分野で発展させていくためには、今までのかたちではいろいろな時間の制約があります。そこで委員会で話し合いをします。例会は月2回あり、委員会で一度集って決まらなければまた集るということでは、現役が多い我々のクラブでは難しいのです。実際、我々は働いている人が多いのです。

例会を月2回、第2、第4木曜日に開催し、第1木曜は、理事役員会、第3木曜日は委員会やクラブ協議会・クラブフォーラム等を、委員長さんを中心に開催して頂こうと思ひております。

我々は若いクラブですから、むしろ例会を減らすことによってクラブ協議会、委員会などを通して例会と違うかたちで活発に話し合いができる。それからイニシエーションスピーチで各会員の紹介もできる。そういう活動をしていきたいと思ひております。

例会は2回開催ですが、ロータリー活動とは今までと変わらない。むしろ盛んになる。これを回数が単に減ったと思わないでください。逆にこのかたちがロータリーの理想なのではないかと、自他共に認められるところまでもっていききたいと思ひます。御苑RCがロータリー運動の素晴らしい手本になるよう頑張つて参ります。これも皆様、会員の協力のもとにやっていきたいと思ひております。

昨年度「国際会長賞」を当クラブはいただきました。授賞式は来年3月、地区大会で行なうそうです。これは創立会長が頑張られたものなので、授賞式に出てもらおうかと思ひております。それから「国際ロータリー会員増強ゴールド賞」の受賞は黒岩創立会長に決まりました。地区でもただ1人だと思ひます。あらためて「国際ロータリー会員増強ゴールド賞」については豊田幹事より幹事報告のときに聞いてください。

我々はいろいろな意味で注目されてきました。会員は100名ですが、きちんとできる人達をということで20名以上の人は退会されました。ひとりでも辞めさせないように、3年以内に辞めてはダメだということもありますが、会員の質とか熱心さというのも大事なので、今後もその点はきちんとしていきたいと考えています。「例会5回は出席」という自分に課したルールの中で、私も他のクラブが年間増強させる以上の会員を増強することができました。今月も多分何名か私の紹介で会員が増えていきます。

御苑RCは質、行動、そしてロータリーへの理解。例会を減らして会員の研修やクラブ協議会に時間を充てる分、他のクラブより勉強するチャンスがあります。勉強といいますが、ロータリーを楽しむために必要なことだと思ひます。例会を本当に楽しくしましょう。楽しい例会の中で研修をやるよりは例会は例会、研修は研修と分けたほうがいいと思ひます。御苑RCはロータリークラブの中でひとつのかたちをしっかりと作っていききたいと思ひます。これが私の所信でございます。よろしく御願ひいたします。